

令和5年1月5日

（あて先）熊本市長

住所 熊本市中央区

団体名 NPO 法人令和花のチカラ研究所
代表者 職名 理事長 氏名 新田 時也



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和4年7月5日付け指令（地活）第26号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
「廃棄される花」×「プラスチック・ゴミ」⇒アート（Art）で感謝

2 助成事業の実施期間

令和4年5月1日 ～ 令和4年12月28日

3 助成事業の内容

ゴミとして捨てられているペットボトルを洗浄、マーカーで装飾し花を活ける花瓶に仕上げた。自由な発想でのペットボトルを使ったゴミ・アートが想像され、作品の展示会も開催した。

4 事業の成果

数名の高校生、大学生、社会人のほかに、小学生と母親の親子連れが3組、作成する事業に参加した。和気あいあいと作成を行った。ペットボトルのゴミ・アートの展示会も、多くの熊本市民に興味・関心を持ってもらえることが出来たので、ゴミ問題をアートの立場から考え直す良い機会となった。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費		
当該事業による収益		
当該事業に対する寄附・協賛金		
その他の自己資金	311	
当該事業に対する助成金額	100,000	
その他の補助金、助成金等【D】		
合 計	100,311	

◆支出決算 (事業別)

支出費目		事業名	事業1	事業2	事業3	合計
			「廃棄される花」×「プラスチック・ゴミ」⇒アート (Art) で感謝			
助 成 対 象 経 費	人件費		40,000			40,000
	報償費		0			0
	旅費		0			0
	人件費等合計【A】		40,000			40,000
	役務費		12,000			12,000
	使用料・賃借料		29,480			29,480
	事務・消耗品費		18,831			18,831
	委託費		0			0
	合計		100,311			100,311
助 成 対 象 外 経 費						
	合計 (助成対象外経費)					0
			総 事 業 費			100,311

【☆】

助成申請上限額 (助成種別：スタートアップ助成)

〔 助成対象経費【☆】 100,311 - 控除額【E】 0 〕 × 10/10 = 100,311

※控除額…超過人件費 (人件費等の合計が助成対象経費の1/2を超えた部分) とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	40,000	→	超過人件費【C】※	0
助成対象経費の1/2【B】	50,155		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	▲10,155		控除額【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1 [「廃棄される花」×「プラスチック・ゴミ」⇒アート（Art）で感謝]

人件費	《芸術活動》（花、ゴミ収集・洗浄も含む） 臨時スタッフ人件費 @2,000 円×5 名（大久保、久保、大坂、守田、劔）×2 回、 《展示会》（運搬、設置、会場案内も含む） 臨時スタッフ人件費 @2,000 円×5 名（大久保、久保、大坂、守田、劔）×2 回。
報償費	
旅費	
役務費	切手（日本郵便）、@120 円×100 枚。
使用料・賃借料	くまもと県民交流館パレア 2 回×@6,380 円+2 回×@8,360 円
事務・消耗品費	ハイマッキー（6,930 円）、折り紙（4,860 円）、グロスコート（3,441 円）、アロンアルファ（3,600 円）。
委託費	

事業2 []

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

事業3 []

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

別紙（１）

事業報告書

実施年度	令和４年度
事業名	熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 「廃棄される花」×「プラスチック・ゴミ」⇒アート（Art）で感謝
事業期間	令和４年５月１日　～　令和４年１２月２８日
事業の目的	「捨てられる花」と「捨てられたプラスチック・ゴミ」を掛け合わせて、アートに生まれ変わらせることで、「物の大切さ（もったいない精神）」を体得しましょう。
具体的な事業内容	《芸術活動》 開催日時：令和４年８月１７日（水）＆８月１８日（木）。各日、１３：００から１６：００の間。 会　場：くまもと県民交流館パレア （熊本市中央区手取本町８-９ テトリアくまもとビル）、和室。 参加人数：両日、合算して、高校生１２名、大学生３名、社会人３名、小学生と母親の子ども連れ３組。 内　容：われわれ団体のスタッフが、捨てられているペットボトルを、きれいに洗浄して、参加者に渡した。マーカサインペンなどで思い思いのデザインを描いたり、グッズを吊り下げたりと、参加者ひとりひとりがペットボトルで花瓶を作り上げた。 《展示会》 開　催　日：令和４年１１月３日（木）＆１１月５日（土）。 会　場：くまもと県民交流館パレア（会議室３）、各日、１３：００から１６：００）。 内　容：ペットボトルで作った花瓶の展示。 【参加者の募集/展示会の告知について】 募集は、SNS 以外に、図書館や学校に郵送で、ポスターやチラシを送付した。令和４年７月２０日、７月２１日、７月２２日、７月２３日、７月２４日の５回に渡し、２０通ずつ（計１００通）。
実施場所	くまもと県民交流館パレア、水前寺参道。
協力団体	協力：グリーンアドバンス熊本 （熊本市内の美化団体。代表：新田 時也。メンバー：およそ２０名）
事業の効果・公益性	本事業の《芸術活動》に参加することで、物への感謝と「もったいない精神」が体得できた。展示をすることで、展示物を鑑賞した多くの熊本市民にも、おなじく、感謝と精神が、ここに生まれたことと思われる。
次年度以降の事業展望	本事業は、子供たちの情操教育にも繋がると思われるので、継続を考えている。学校単位での総合学習としても役立ち得ると思われるので、学校から協力の要請があれば、連携をしたい。
事業への想い （当事業によってどのような熊本市にしていきたいか）	「きれいな熊本市」は、「きれいなところ」から生まれる。ゴミを「ゴミ」としてではなく、「ゴミ」に感謝をすること。「きれいなところ」の市民がいっぱいの熊本市になっていただきたい。